

ロジックモデル

番号		C : 個別施策	番号	B : 中間アウトカム	番号	A : 分野アウトカム
1	指標	自治医科大学卒医師や地域卒医師に、キャリア形成プログラムを適用することで、地域医療を担う人材として育成する キャリア形成プログラム適用同意者数（再掲）	1	京都府立医科大学、京都府中北部病院病院長、各医局教授等の関係機関との連携推進	1	地域の医療受給を踏まえた医師偏在解消の取り組みや将来不足が予想される診療科等についても、医療を受けることができる
	指標	キャリア形成プログラム適用予定医師の医師確保困難地域への医療機関への派遣医師数（再掲）				
2	指標	自治医科大学卒医師や地域医療確保奨学金貸与者が、義務年限後も府内の医師確保困難区域で継続して、勤務することができるよう環境整備を行う 地域医療確保奨学金の貸与を受け医師確保困難地域の医療施設に従事した者	2	医師確保困難区域における医師の確保及び勤務環境の改善		
	指標	大学院医学研究科授業料等助成事業活用人数（再掲）				
3		京都府立医科大学附属北部医療センターにおいて、へき地医療支援機構としての機能の充実・強化を図り、へき地医療対策の企画・調整を行うとともに、各種事業を円滑かつ効率的に実行する	3	へき地医療対策の企画、調整及び医師の育成		
4		地域医療に対する意欲を醸成し、互いに顔の見える関係を構築するため、自治医科大学学生、地域卒、地域医療卒の学生に対して、地域医療体験実習等を実施する	4	地域医療に対する意欲の醸成		
	指標	夏季実習、地域医療体験実習等の開催件数（再掲）				
5		ホームページや各種雑誌、就職説明会など様々な媒体を活用した広報活動により、京都府内で働きたい医師を募集し、京都府内で勤務する医師を確保する	5	各種広報媒体を活用した京都府内で働きたい医師の確保		
	指標	臨床研修ガイドブック配布数（再掲）				
	指標	就職活動フェアにおける出展回数（再掲）				
6		医師確保対策、医師臨床研修制度や専門医制度等、引き続き地域偏在や診療科偏在の解消に向けた制度となるよう、国への政策提案、要望等を実施する	6	地域偏在や診療科偏在の解消に係る要望等の実現		
	指標	政策提案・要望活動の実施件数（再掲）				